

吉田幸一編

百人一首古注

古典文庫

吉田幸一編

百人一首古謡

古典文庫

古典文庫第二九一冊

昭和四十六年九月二十日印刷發行

©

(非売品)

編者 吉田幸一

発行者 吉田幸一

東京都板橋区熊野町三四

印刷者 帝都印刷製本株式会社

注古一首人百

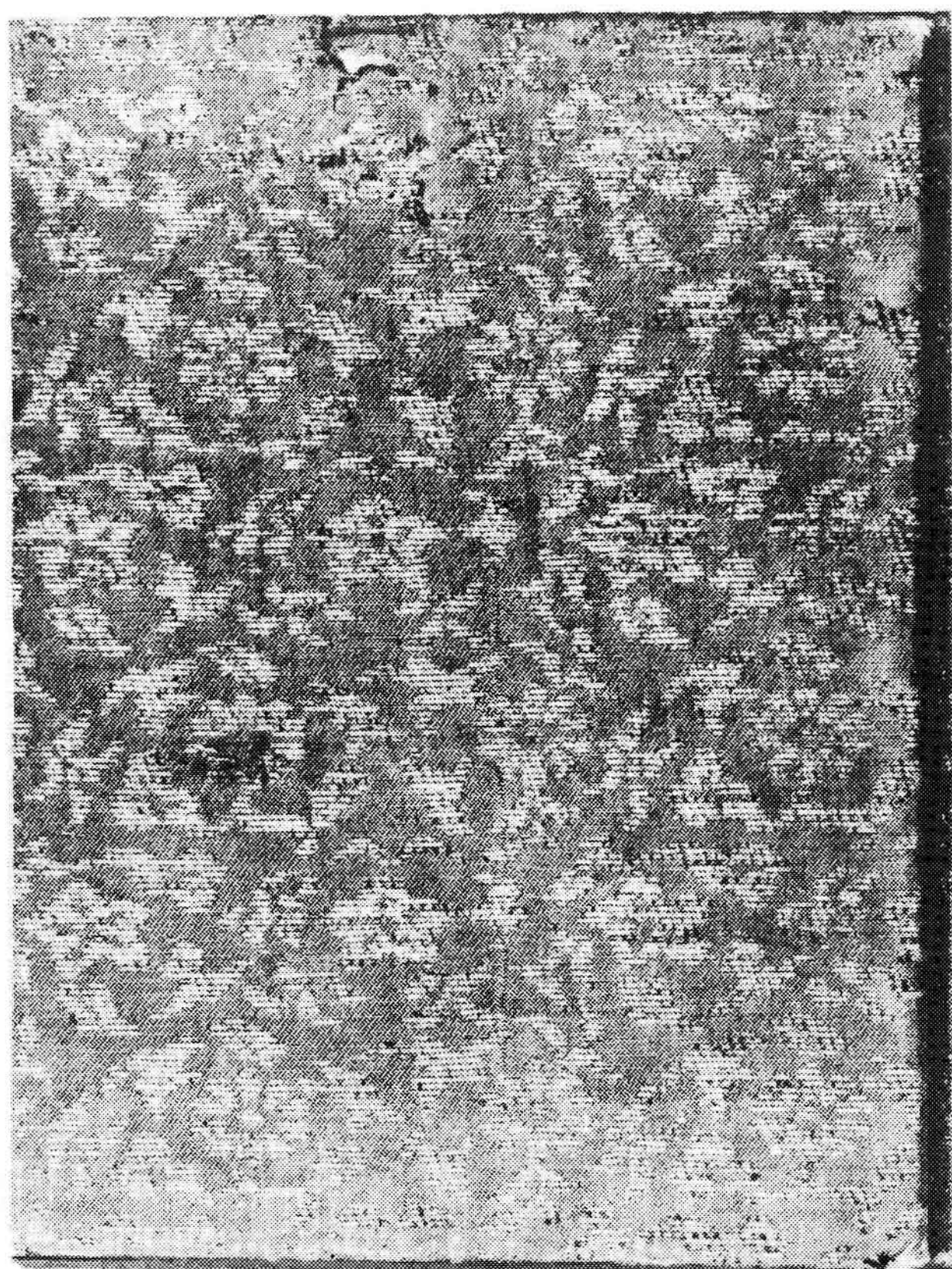
発行所

114

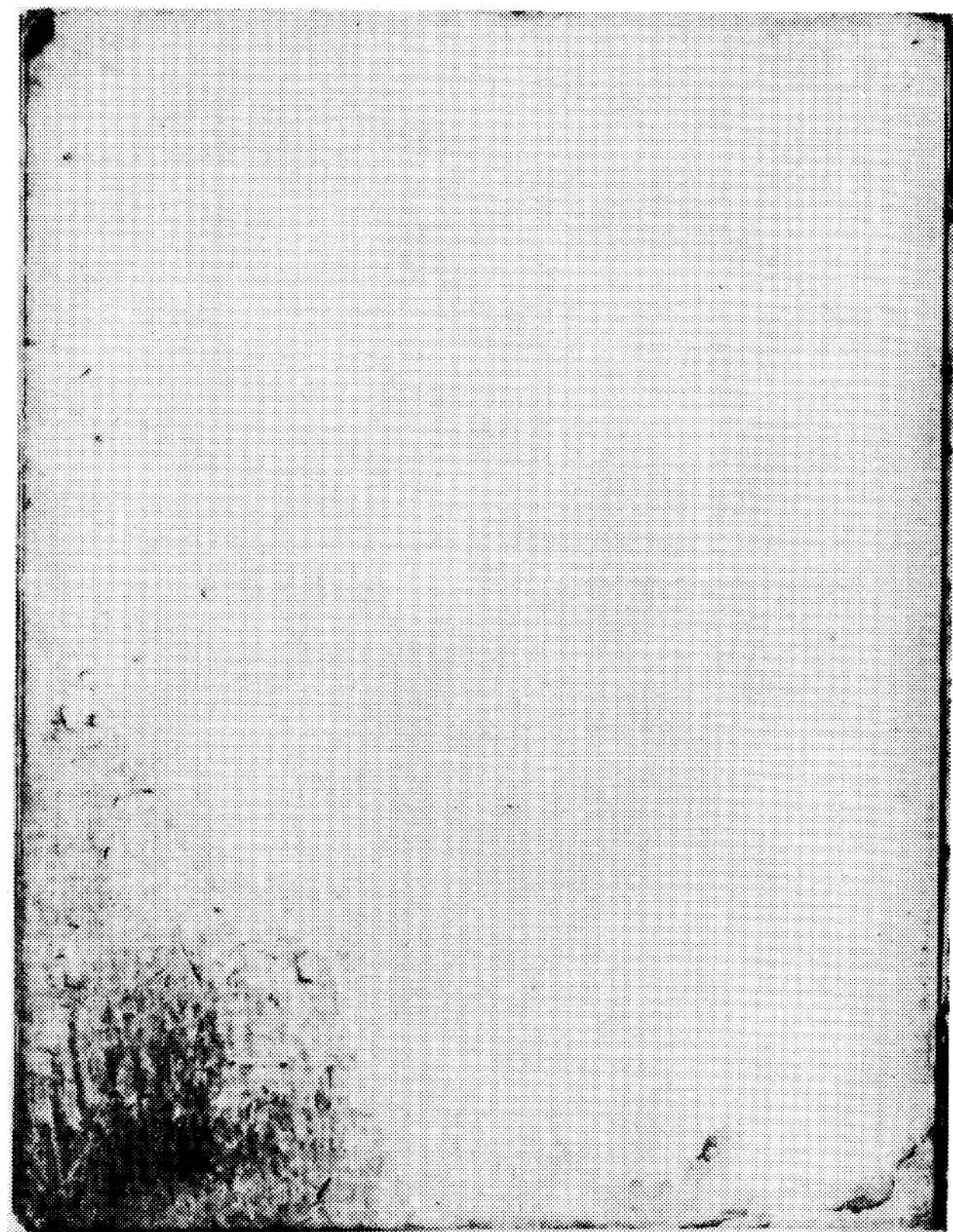
東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(九一〇)二七一七
振替口座東京一四五九七番







倭成つていふやうなうて倭患
もわて二十五年のうらるる倭
の力もあつて今頃のいふ相傳の
ことと主のいふことと異なる
ことと小言のいふことと異なる
ことと終つていふことと異なる
ことと最後のいふことと異なる

ながりて玉系集、介載集と
きせらるけしに勅撰の儀式
ふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふ
後鳥羽院の氣文はあふふ
りてふふふふふふふふふ

明はりて少く動古今とある羽院
 清自然なりとある向明述懐一
 う少く漢歌小山造り中院
 金市とくしたるなりてふれ
 金市とくしたるなりてふれ
 と金市とくしたるなりてふれ
 と金市とくしたるなりてふれ
 と金市とくしたるなりてふれ

の年ありしにて実れは
いふに樸らぬはふりて
何天下ふたふたて人の
いふれはふりてあり
勅撰のふりてあり
いふれはふりてあり
のふりてあり

鳥羽院よりト以て
天下に出たときより
後々の院位小に
女民部への典侍と
あつてと、勅徳の
人々も、小に
後々の院位小に
女民部への典侍と
あつてと、勅徳の

てやうなものは百人一首
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心
新と基こくもはく心

清平の秘
有反り

後撰

天智天皇

舒明二年

秋の山とがりてふをたふさうと
我衣年いし高きぬしに
かりたてふよりふふふのふ
なりてふをたふさうと
秋の山とがりてふをたふさうと
かりたてふよりふふふのふ
なりてふをたふさうと

のしぬく所しぬくは
義理なりぬくはすく
道はふれりしとて家
人海意をりしとて
方ふれりしとて天下
國土安穩成しとて
くふくふと道とて
仁

儀不向より世小力
しらも民幸師守小棟
田より江より物通て
のるも民幸此還懐乃
ちあつて

持統天皇

天智天皇
二皇子

有^{万葉}にて云ふ少時日かた

衣としてぬきけり
白めの衣はくふやせむ
ふしき春もたるとなほ
多てゆきけり春は
おもひてゆきけり
なほ此のふしき
白めの衣はくふやせむ